

自治会トピックス

ホテルの里あやめ苑まつり(堀口)

6月1日(日)、第22回「ホテルの里あやめ苑」まつりが開催されました。この地は、湧水、竹林、市指定木「こぶし」など自然に恵まれた環境でしたが、昭和末期には、ごみ捨て場となっていました。平成4年に地域が一丸となり、手作り公園「ホテルの里あやめ苑」の完成を記念して、始めたのがこの祭の起源です。当日は、各世代の「ふるさと太鼓」やフラダンス、模擬店、地元野菜の軽トラ朝市、あやめ団子抽選会などで賑わいある一日でした。



元気にふるさと太鼓

認知症サポーター養成講座(馬渡)

6月25日(水)、社協馬渡支部では、認知症の理解と支援策の一環として「認知症サポーター養成講座」を開催しました。社協南部おとしよりセンターの専門員を講師に招き、福祉推進委員やネットワーク協力員等56名が受講しました。講話や家族間の問題を題材とした寸劇を鑑賞した後、感想を発表したり、グループ毎に改善点を話し合うなど、介護のあり方を楽しく学びました。「明日は我が身」と意識しつつ研修内容を今後の生活に活かしていきたいです。



寸劇の様子

2チームが決勝へ進出!(六ツ野)

5月18日(日)、第3回大島コミセン地区ヘルスパレー大会が外野小で開催され、各自治会から10チームが参加しました。六ツ野自治会からは、スポレク部会と子供会を中心とした「Bebedor(ベベドール)」と「六ツ野ブルーダイヤモンド」の2チームが参加し、優勝と3位入賞という快挙を達成しました。双方へ公平に送られる子供応援団の大声援のなか、好勝負が展開され2月の市の大会に駒を進めることができました。



2チーム一緒に記念撮影

西大島友遊クラブ(西大島)

平成22年2月「健康・友愛・奉仕の精神をもとめて」をスローガンに高齢者クラブを発足しました。55名の会員と共に4年が経過し、平成25年・26年にはひたちなか市高齢者クラブ連合会及び茨城県老人クラブ連合会からモデルクラブとして認定され現在活動中です。概ね60歳以上の方々が、グラウンドゴルフ部、芸能部で楽しく活躍しています。その他、年2回、福祉バスを利用し移動研修を実施しています。



移動研修にて(予科練平和記念館)

ひたちなか市 自治会連合会だより

第55号

発行日/平成26年8月10日
発行者/ひたちなか市自治会
連合会広報委員会
TEL 273-0111
FAX 271-0851

自治会連合会総会を開催

4月24日(木) ホテルニュー白亜紀にて、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、自治会連合会総会を開催しました。

総会にあたり、ひたちなか西警察署植木署長より、当市においても被害が増加している「オレオレ詐欺」と「高齢者の交通事故」についてお話をいただきました。横断中は左側からの車に特に注意すること、夜間の歩行は反射材を身に付け運転者から見えるようにすること。被害を防止するためには、より多くの場で注意喚起が必要と思われます。

議事については、提案された報告・議案いずれも満場一致で承認されました。

また、三ツ石前自治会連合会会長のご逝去による後任として、前副会長の飯島



感謝状贈呈の様子

光則氏が選出されました後、新任自治会長へ市政協力員の委嘱、退任自治会長への感謝状贈呈が行われました。

さらに、本間市長より挨拶をいただき、ひたちなか市の現状と課題について知ることができました。



総会の様子

自治会連合会 会長就任にあたって

このたび、自治会連合会会長としてご尽力頂きました三ツ石会長がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三ツ石会長が粉骨砕身、運営された当会を引き継ぐことになり、大役で身が引き締まる思いであります。

さて、当市にも少子・超高齢化の波による孤立化など様々な課題、個人の価値観の多様化による自治会加入率の低下が懸念されています。

一方で、地震、異常気象によるゲリラ豪雨・突風・竜巻等の自然災害に備えるため、高齢者や障がいをお持ちの方をはじめ、より一層、ご近所・地域との繋がりを培っていかねばなりません。

自治会を運営するうえで、これらの課題を克服して当市が目指す「自立と協働のまちづくり」を推進していきたいと思っております。

今後とも、安心・安全な地域づくりのため本会の組織力を全力で発揮し、市政の発展に繋がりますことをご祈念申し上げまして、就任のあいさつといたします。



飯島 光則 会長

夏のイベント

- 8月16日(土) ひたちなか祭り 花火大会
- 8月17日(日) ひたちなか祭り
- 8月30日(土) 市総合防災訓練

編集後記

かねてより予測され心配されていた人口減少社会が、都市部においても現実になりつつあるようです。このことがもたらす影響は様々あると思われませんが、自治会も徐々に少子高齢化を前提とした地域づくりに重きを置く必要がでてくるのではないのでしょうか。

(連合会広報委員会)

自治会連合会の活動

新任自治会長研修会の開催

5月16日(金) 市役所企業合同庁舎

新任自治会長19名を対象とした研修会を開催し、市担当課・社会福祉協議会より、自立と協働のまちづくりをはじめ、各事業や補助金等の概要について説明を受けました。質疑応答も活発に交わされ、大変有意義な研修会となりました。

今回は、研修に参加した堀口自治会の佐藤会長に、研修を受けての感想をお聞きしました。



耳を傾ける新任自治会長

新任自治会長研修会に参加して 堀口自治会長 佐藤 大

自治会は「行政の下請け」という考えがあったかもしれませんが。自治会が行政事務を請け負うことは、施策のプロセスを理解し、地域分権を担う組織として発展・習熟していくきっかけにもなります。地域づくりは、行政と地域それぞれの役割と責任を果たして取り組むべきものです。地域課題の解決は、住民と行政の共同事業であることは明らかです。自治会活動だけでは限界があり、逆に行政だけでは地域に沿った理解は十分に期待できません。本市の「自立と協働のまちづくり基本条例」の目的には、“市民がまちづくりの主役であり、市民と市が協働でまちづくりを進める”と謳っています。

今回の研修を通して、高齢者支援・災害時対応など、地域でできることを蓄積し、状況に応じて行政の後方支援が必要であることを感じました。

新任自治会長の紹介

平成26年度（敬称略）

池田 聰 (大平)	佐藤 大 (堀口)	玉村 俊一 (下高場)	藤咲 武夫 (田彦西)
土田 良春 (富士山)	笹島 秀男 (本郷台)	川崎 徹 (佐和駅前東)	清野 建造 (堂端)
佐藤 新平 (津田第一)	澤畑 隆一 (足崎)	安島 由文 (柏野)	小滝 達雄 (柳沢美田多)
西野 幸一 (津田西山)	伊藤 勝三 (足崎団地)	朝倉 祥郎 (六ツ野)	成瀬 福次 (平磯)
小船 照久 (市毛北)	西野 正雄 (西原)	大橋 恒雄 (田彦東)	

自治会連合会役員を紹介します

平成26年度（敬称略）

会長	飯島 光則 (弥生西谷津)	監事	松本 光栄 (上高場)
副会長	川崎 秀夫 (和田町)		稲垣 功 (湊中央)
	寺沼 保 (常葉台)	事務局長	坂井 久彦 (大成町)
	清水 孝義 (東大島)		
理事	尾曲 六郎 (勝田駅前南)		
	清水 進 (金上)		
	原 健三 (笹野)		
	石川 英世 (津田第二)		
	牛窪 基之 (津田第三)		
	佐藤 大 (堀口)		
	川又 武司 (長砂)		
	岡野 金藏 (佐和駅前)		
	高橋 收 (さわ野杜)		
	石井 賢司 (東石川一丁目)		
	落合 貞陽 (はしかべ)		
	小林 克也 (西大島)		
	内田 雅恵 (大島公園西)		
	稲野邊龍司 (小川)		
	小沼 慶三 (湊泉町)		
	近藤 千秋 (柳が丘)		
	大塚 功洋 (磯崎)		



専門委員会の紹介

平成26年度（敬称略）

●企画委員会	●広報委員会
原 健三	清水 進
牛窪 基之	佐藤 大
川又 武司	黒澤 一男
高橋 收	岡野 金藏
落合 貞陽	嶋志田政行
内田 雅恵	小林 克也
小沼 慶三	近藤 千秋
稲野邊龍司	大塚 功洋

・企画委員会とは？
施策の調査・研究をし、市への要望をまとめます。
・広報委員会とは？
自治会連合会だよりの作成をはじめ、本会の活動を広めます。

状況をお知らせします

東日本大震災における功労表彰

7月18日(金) 市役所応接室

東日本大震災における被災者の支援活動に対して、厚生労働大臣より感謝状が贈呈されました。

震災時は、各自治会で安否確認や炊き出し、井戸水の支給など、献身的な支援活動が行われました。

(当市では自治会連合会のほかに、ひたちなか市連合民生委員児童委員協議会も表彰されました。)



自治会連合会ってなあに？

自治会連合会（通称：じちれん）は、各自治会が連携し情報交換や協力をしあうことで、より良い地域となり、本市の発展に繋がることを目的に運営されています。

今回より「自治会連合会」の活動状況を、シリーズで紹介していきます。



自治会連合会は、自治会活動の推進をしています。自治会活動は、自分たちの地域を安全・安心に住みやすくするための活動です。他市町村の情報収集・先進都市の視察・研修会に参加をし、改善や対策を考え、行政と協議しながら推進を図っています。

1. 防犯

防犯パトロール隊や自警団による地域のパトロール、子供たちの登下校の見守り活動などを実施しています。



市内で起きた空き巣や窃盗などの犯罪件数：1,457件（平成25年）

2. 防災

震災の経験を活かし、防災資機材の購入や、防災訓練を積極的に実施しています。



防災資機材：
・非常食や非常水
・発電機
・消火器
・防災ラジオ など

3. 交通安全

危険箇所の確認やカーブミラーなどの設置要望、各キャンペーンへの参加を通じて、交通事故防止活動を実施しています。



市内の交通事故：757件（平成25年）

次回は「自治会運営に関わる情報提供」を掲載します。